

響とともに、開放した窓から、コーランのウォーツ、ウォーツという絶叫が響き渡るではありませんか。驚いたの何の。真夜中の三時か四時です。イスラムのお坊さんが「みんな起きろーっ!!起きろーっ。寝てるなんてとんでもない。でも言うように、あらん限りの声で絶叫しています。時間じくして、一斉にあちこちのミナレット（イスラムの教会）から、アーアーアンアーアンと。これは遠くから聞こえてきますが、絶叫ではありません。お祈りの呼びかけです。心地良い。

しかし、私のマンションのすぐ近くにある教会の坊さんだけは違います。決死の形相すさまじく（見ていません。私の想像です）ひとりで絶叫また絶叫。教会の尖塔、ミナレットのつぺんにスピーカーが取り付けられています。御丁寧にも万遍無くすべての方角にお祈りの声が届くよう四方向に取り付けています。スピーカーが壊れるのではないかと心配するほどボリュームを最大にして、しかも絶叫しているのです。ウォーツウォーツ。起きろーっウォーツ。耳元に大音響で聞こえます。もう寝るどころではありません。今夜もまた絶叫とお付き合いです。

アルジェリアという国

アルジェリアは、イタリア半島の南地中海を挟んで対岸にある、地中海アフリカの国です。サハラ砂漠で有名ですが、実際は地中海文化圏であり、フランスのテレビ番組が日常に流れ、パリの最新ファッションが同時中継で毎日入って来ます。

現在のこの国で、鹿島、大成、西松、間組、鉄建の建設ゼネコン五社が共同で東西六百五十kmの高速道路を建設しています。日本人約七百名、東南アジア人、アルジェリア人、カナダ人、イタリア人など、合計二万数千人が働く、総額五千億円の大プロジェクトです。この国を知るのに先ず必要なのは、アラブ文化圏でありながら、先住民は地中海系白人種であり、亜麻色の髪に白い肌の人種と、浅黒いアラブ人種が歴史的に共存し、アラビアの影響を大きく受けた、地中海先住民の文化であることです。祖先の血を受け継いだ、白い肌、青い目、金髪の人も沢山おり、日本人がアルジェリアと聞いて想像するような「地の果て」でも、「月の砂漠のアラブの国」でもありません。パリまで飛行機で二時間の国なのです。



小さな港町コロ



小学校の授業開始を待つ子供達